

フィスコリサーチレポーター渾身のレポートを皆様へ

銘柄分析レポート 3月号

今月の銘柄

- < 2362 > 夢真ホールディングス
- < 3620 > デジタルハーツ
- < 4293 > セブテーニ・ホールディングス
- < 4779 > ソフトブレーン
- < 7224 > 新明和工業

こんにちは。フィスコでリサーチレポーターをしている飯村真由、三井智映子と申します。

フィスコリサーチレポーターは、フィスコのアナリストからアナリストとして必要な知識を習得するカリキュラムを受講し、金融や経済について専門的な知識を日々深めています。

また、他の活動も兼任することで、今までになかった消費者目線からの切り口で株・金融・経済を俯瞰して分析し、日常との関連性を分かりやすくお伝えします。

直接企業へ取材に行くこともあり、いち消費者とアナリストの中間的な存在として、より身近に株・金融・経済の情報をお届けしていきます。

今回はフィスコのアナリストである中村孝也さん、村瀬智一さん、佐藤勝己さん、小川佳紀さん、田代昌之さんに注目しておきたい銘柄のポイントを取材しました。

ご紹介する5銘柄は利益の成長ステージこそ異なるものの、いずれも好調な業績が期待されます。

今回のレポートは月間でのパフォーマンスを重視していますが今後、様々な形でマーケットや銘柄をレポートしていければと考えています。毎月レポートを発行しますのでよろしくお願ひします。

なお、私達リサーチレポーターの活動につきましては、下記のfacebookでもお伝えしています。

それでは、取材した「リサーチメモ」をご覧ください。

飯村真由facebook

<http://www.facebook.com/iimura.ma>

三井智映子facebook

<http://www.facebook.com/profile.php?id=100004302637336&fref=ts>

復興需要と公共投資の増加で恩恵、中長期的に業績は拡大局面へ

何をしている会社ですか？

建設現場への技術者派遣を展開しています。技術者を正社員として常時雇用し派遣する「特定派遣」と呼ばれる事業モデルを採用。東日本大震災以降は、復興需要に対応するため、大量の技術者を派遣する体制を整えています。

売買単位	100 株
3/6 終値	488 円
市場	JASDAQ
業種	サービス

注目するポイントは何ですか？

建設業界においては人手不足感が強まっています。建設作業員の有効求人倍率は、東日本大震災前は1倍前後でしたが、復興関連工事の本格化に伴って上昇。また、安倍政権は「国土強靱化」を名目にインフラ投資を拡大する方針であり、今後も人材の需給環境が一段と逼迫することが予想されます。

ターゲットが切れました。前述のように、今後も復興需要と公共工事の増加が業績押し上げ要因となり、通期計画は射程圏内と言えるでしょう。

足元の業績動向はどうですか？

業績面については、13年9月期売上高が前期比22.9%増の135.0億円、営業利益が同75.8%増の21.0億円と大幅な増収増益が計画されています。1月末に発表した第1四半期売上高は前年同期比12.8%増の30.1億円、営業利益は同46.1%増の3.9億円となり、順調なス

そのほか伝えたい点がありますか？

昨年10月には17年9月期までの中期経営計画を発表しました。売上高を270.0億円、経常利益を71.5億円まで引き上げる方針を示しており、中長期的な業績拡大の期待は高いと言えます。株価は第1四半期の決算発表以降、調整基調が続いていますが、決算発表を通過した材料出尽くし感が背景とみられ、中長期の業績拡大を考慮すると上昇トレンドの継続が期待されます。



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1株益(円)
08/9	38,831	-6.55	288	244	-81.03	-42	-
09/9	7,080	-81.77	489	371	52.05	349	4.87
10/9	4,861	-31.34	519	552	48.79	430	6.71
11/9	6,816	40.22	542	451	-18.30	102	1.71
12/9	10,982	61.12	1,194	1,295	187.14	738	12.62
13/9予	13,500	22.93	2,100	2,200	69.88	1,300	22.20

(百万円)

ソーシャルアプリ需要は大きく、デバッグ事業が利益成長をけん引

何をしている会社ですか？

発売前のソフトウェアや、リリース前のシステムの不具合をユーザー視点から検証して報告するデバッグ(不具合検出)サービスを手掛けています。モバイルや PC ソフトウェアをはじめ、WEB サイト、オンラインゲームのほか、家電製品やパチンコ・パチスロなどのアミューズメント機器検証など幅広く展開しています。

売買単位	100 株
3/6 終値	750 円
市場	東証 1 部
業種	情報・通信

注目するポイントは何ですか？

日本最大級の総合ゲームサイト「4Gamer.net」を運営している Aetas 社の子会社化により、ユーザーに対する強力な情報配信力と、ゲームのコアユーザーを含む 7000 名を超える登録テスター、さらに同社のデバッグノウハウとを融合させることで、新たな事業展開の基盤を整えています。利益は前年同期を下回っていますが、新規事業への積極的な投資を行ったことによる影響とのことです。

減の 7 億 600 万円、四半期純利益が同 2.2% 増の 3 億 9200 万円となりました。デバッグ事業においては、ソーシャルゲーム向けデバッグ需要の拡大に伴い、昨年 12 月には札幌及び韓国に Lab.(ラボ)を増設し受注体制を強化しています。さらに、より付加価値の高いサービス提供の観点から、新サービス「ソフトウェア不具合検証保証サービス」の提供も開始しています。

足元の業績動向はどうですか？

2 月 1 日に発表した第 3 四半期(2012 年 4-12 月)業績は、売上高が前年同期比 18.2% 増の 49 億 3100 万円、営業利益が同 7.1% 減の 7 億 300 万円、経常利益が同 3.6%

そのほか伝えたい点がありますか？

ゲームタイトル減少による影響を受けやすいですが、商戦期が集中しないオンラインゲーム等を比率拡大で対応。ただ、3D コンテンツ制作事業での進捗の遅れによる費用の増加は注意しておく必要があると思います。

3620: 週足

2 月 15 日に昨年来安値 647 円を付けたものの、ボトム意識が徐々に高まり、切り下がる 26 週線を上抜いている。商いを伴うボトム形成から、反転姿勢が強まる展開を期待。



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1 株益(円)
12.03	5,386	-	833	806	-	440	7608.29
13.03 予	6,922	28.50	1,088	1,092	35.40	596	51.44

注: 12 年 3 月期より連結財務諸表を作成しているため、11 年 3 月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

日本初 F B 広告「公式 API パートナー」に認定、運用管理ツールの提供を開始

何をしている会社ですか？

インターネット広告、ウェブサイト制作などの手法を用いて、インターネットマーケティング活動を支援しています。携帯電話向けコンテンツ配信を手掛けるアクセルマーク<3624>など 17 社の連結子会社、2 社の持分法適用会社を保有。なお、IR に積極的に取り組んでおり、日本 IR 評議会が選定する 2012 年度「IR 優良企業賞」において「IR 優良企業奨励特別賞」を受賞した経緯もあります。

足元の業績はどうか？

ネットマーケティング事業において 12 月の広告出稿が想定を上回る進捗が見られます。また、メディアコンテンツ事業では、ソーシャルゲーム事業が次の成長に向けた踊り場を迎え人件費増加など苦戦しているものの、外注費や広告宣伝費などの経費削減に成功しました。こうした背景から、第 1 四半期の売上高は前年同期比 12.2% 増の 108.9 億円、営業利益は同 20.7% 減の 2.9 億円ですが、ともに従来発表予想値を上振れての着地となりました。

今後の業績見通しはどうか？

第 2 四半期に関しては、主力のネットマーケティング事業は、フェイスブック関連とスマートフォン向け広告に注力することで、前年同期比で増収増益が見込まれていま

売買単位	1 株
3/6 終値	95900 円
市場	JASDAQ
業種	サービス

す。一方、苦戦の続くメディアコンテンツ事業においては、ソーシャルゲームの新タイトルの売上が拡大するものと想定されており、第 1 四半期比では増収かつ営業損失が縮小する見通しとのことです。こうした見込みから、上期会社計画に関しては、売上高を前年同期比 7.7% 増の 220.9 億円、営業利益は同 23.1% 減の 6.6 億円が見込まれています。なお、第 2 四半期において、投資有価証券売却益など約 3.1 億円の特別利益の計上を予定しており、四半期純利益は 126.6% 増の 6.1 億円と大幅増益となるようです。

そのほか伝えたい点がありますか？

同社は日本の企業として初めてフェイスブック広告「公式 API パートナー」に認定され、広告運用管理ツール「PYXIS(ピクシス)」を開発、昨年 9 月 1 日から国内外向けに提供を開始しています。このことから、フェイスブック関連との位置付けもできます。



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1株益(円)
08/9	30,700	18.70	1,125	1,010	-15.55	563	4454.13
09/9	33,046	7.64	598	421	-58.32	-585	-
10/9	32,648	-1.20	1,098	1,024	143.23	545	4333.90
11/9	34,632	6.08	928	980	-4.30	429	3411.04
12/9	41,358	19.42	1,527	1,638	67.14	677	5381.15
13/9予	-	-	-	-	-	-	-

(百万円)

5 期振りの増収増益、一段の収益成長と新規事業の動向に注目

何をしている会社ですか？

営業課題を解決、支援するための SFA/CRM(営業支援/顧客管理)ソフトの大手企業です。SFA の分野では 2~3 割の市場シェアを握っています。子会社で店舗調査や店頭販促に係わる業務受託などの「フィールドマーケティング事業」や、オフショア開発を行う「システム開発事業」なども手掛けています。

足元の業績動向は？

2012 年 12 月期の連結業績は売上高が前期比 24.7%増の 42.3 億円、営業利益が同 36.3%増の 6.0 億円と 2 桁の増収増益となりました。「e セールスマネージャー関連事業」では主力の営業支援ソフト「e セールスマネージャー RemixCloud」がスマートフォンの普及を追い風に好調に推移。また、子会社で展開している「フィールドマーケティング事業」も店頭販促に関わる需要が旺盛で、売上高が大幅に伸びたのが主因となっています。

今後の業績動向はどうですか？

2013 年 12 月期の会社業績計画は売上高が前期比 8.6%増の 46.0 億円、営業利益が同 7.2%増の 6.5 億円と増収増益を見込んでいますが、弊社では会社計画は保守

売買単位	1 株
3/6 終値	14740 円
市場	東証 1 部
業種	情報・通信

的で上方修正の公算が大きいとみています。「e セールスマネージャー関連事業」「フィールドマーケティング事業」ともに好調に推移しているほか、2013 年 12 月期の下期(7-12 月期)は消費税引き上げ前で企業が営業販売関連に係る投資を一段と活発化すると予想されるからです。営業利益では前期比 36.1%増の 8.2 億円程度まで拡大する可能性が高いでしょう。

そのほか伝えたい点がありますか？

主力の「e セールスマネージャー関連事業」が復調に転じたことで、「フィールドマーケティング事業」の拡大が素直に利益成長に直結する環境が整いました。2013 年 12 月期の保守的な業績予想を考慮すれば、現状の株価の PER も 10 倍台前半と上値余地を模索できる水準に放置されていると考えられます。

4779: 週足

12 年夏頃から強い相場展開が継続している。切り上がる 13 週線をサポートに 1 月末に残した上ヒゲを吸収する展開を期待。



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1 株益(円)
08/12	3,883	-14.58	-250	-243	-	-1,247	-
09/12	3,817	-1.70	429	417	-	311	1066.31
10/12	3,439	-9.90	414	415	-0.48	331	1132.82
11/12	3,397	-1.22	444	454	9.40	346	1183.47
12/12	4,237	24.73	606	622	37.00	458	1566.69
13/12 予	4,600	8.57	650	650	4.50	400	1367.29

業績は極めて好調で更なる上振れ余地、割安感是正の動きに期待

何をしている会社ですか？

ダンプカーやゴミ収集車など特装車の大手企業です。防衛庁向けや民間航空機メーカー向けの航空機部品も主力事業の一つですので、市場関係者の間では防衛関連銘柄の一角と見られています。

足元の業績動向は？

2013年3月期の第3四半期(4-12月期)営業利益は、前年同期比 11 倍の 38 億円と大幅増益を達成しています。ボーイング「787」向け主翼スパー(翼幅方向に組み込まれた主要部材)の納入機数増加、エコカー減税・補助金効果や震災復興関連需要などにより、航空機セグメント、特装車セグメントともに大幅な増益となりました。

今期業績見通しは？

2013年3月期通期の会社側営業利益計画は、従来の46億円から50億円、前期比2.2倍に上方修正されましたが、第3四半期(4-12月期)までの進捗率は76%に達していることから、通常、第4四半期(1-3月期)に収益が膨らむ傾向があることを考慮すると、再度の上方修正余地は

売買単位	1000 株
3/6 終値	655 円
市場	東証 1 部
業種	輸送用機器

大きいといえます。ちなみに、第3四半期(4-12月期)の営業利益が通期実績に占める割合は、2012年3月期が15%、2011年3月期が46%となっています。

そのほか伝えたい点がありますか？

株価は上昇傾向にあるものの、依然としてPBRは0.7倍台の水準で割安感は強いと言えます。今後も、上方修正期待の高まりとともに、上昇ピッチを早めていく可能性が高いと考えています。なお、足元では、特装車で同業となる極東開発<7226>が復興需要に対応で大型ダンプを増産などと伝わっているほか、米ボーイングの787改善策提示なども安心材料と捉えられそうです。

7224:週足

昨年11月から上げ足を早めたことで年頭に調整局面を迎えた。ただ、切り上がる13週線をサポートに一段高を試す展開を迎えている。



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1株益(円)
08/3	138,959	-3.80	5,008	4,697	-12.79	2,450	24.53
09/3	127,777	-8.05	968	996	-78.79	26	0.27
10/3	110,397	-13.60	3,072	3,122	213.45	3,093	31.00
11/3	107,229	-2.87	1,647	1,372	-56.05	-1,749	-
12/3	108,974	1.63	2,269	2,114	54.08	-266	-
13/3予	148,000	35.80	5,000	5,300	150.60	8,200	82.24

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下[フィスコ]という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

発行所 株式会社フィスコ
発行人 狩野 仁志
編集人 フィスコ株式チーム

■お問い合わせ■
〒107-0062 東京都港区南青山5-4-30
CoSTUME NATIONAL Aoyama Complex 2F
株式会社フィスコ
電話:03-5774-2443 E-mail:support@fisco.co.jp

株式会社フィスコ